

せきがはら巡歴手帖

買

11 関ヶ原で買う

食

11 関ヶ原で食

遊

08 関ヶ原で遊ぶ

巡

07 壬申の乱を巡る

歩

05 中山道を歩く

学

01 関ヶ原合戦を学ぶ

このまち、まるごと、古戦場。

のどかな田園風景の中に
ひっそりとたたずむ、
関ヶ原合戦ゆかりの史跡と、
往時を偲ばせる景色。
さあ、このまちをゆつくり、
まなび、
めぐり、
あるいてみませんか。

関ヶ原町マスコットキャラクター **武者丸**

1600年頃の関ヶ原で、木の陰から、家康VS三成の戦いをこっそり見ていたとかいいたか。現在にタイムスリップしてきたところを町の職員に発見され、観光PRの仕事をすることに。

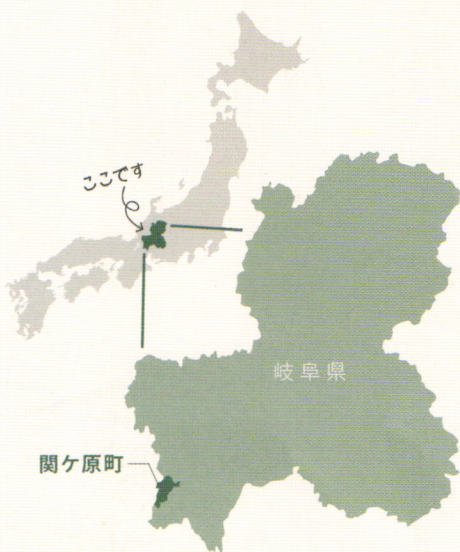
種類 —— 犬(雑種) 好物 からあげ、ビール
性別 —— オス 伝説 武者丸の鼻をなでると幸せになる
好きな場所 関ヶ原の笹尾山 夢 一いささない平和な世界をつくること

ほく、武者丸。
今日はほくが、
大好きなこのまちを
紹介するよ!

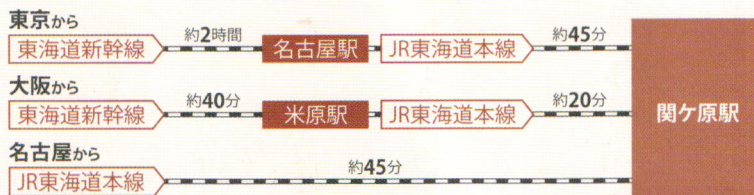


ACCESS MAP

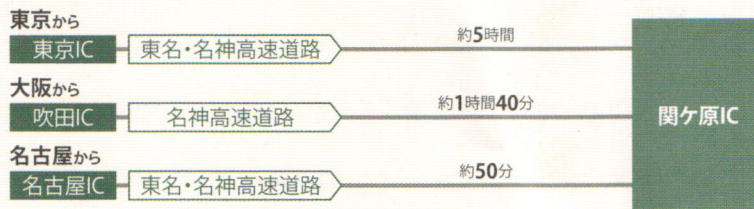
アクセスマップ



公共交通機関で



車で



史跡巡りをもっと便利に!

関ヶ原を レンタサイクルで 楽しもう!



歴史民俗資料館の隣にあるレンタサイクルハウスは、人気の記念撮影スポット!

「関ヶ原町歴史民俗資料館」内の受付スタッフの指示に従って、貸出しリストに必要な事項(氏名、住所、電話番号)を記入後、自転車を借りることができます。

利用時間 9:00~16:30 (11~3月は~16:00)
(受付は終了30分前/終了時間までに要返却)
定休日 月曜(祝の場合は翌日)・祝翌日・12/29~1/3
料金 半日(4時間以内) 500円
一日(4時間以上) 1,000円
お問い合わせ 関ヶ原町歴史民俗資料館 ☎0584-43-2665

関ヶ原をもっと知りたい!

関ヶ原を知るなら 史跡ガイドに お任せ!



「せきがはら史跡ガイド」は、希望の時間やコースに合わせて関ヶ原の名所古跡を案内してくれます。初めて関ヶ原を訪れた方には、お任せコースもあるので安心。

料金 1,000円(交通費)+ガイドの食事(1日の場合)
お申込み方法 規定の申込用紙に必要な事項を記入して、2週間前までに申し込んでください。
ガイド申し込み用紙の入手方法
① 関ヶ原町観光ホームページからダウンロードする
② 事務局に要請し、FAXで取り寄せる(FAX:0584-43-2665)
③ ①②が利用できない場合は事務局にお電話ください
お問い合わせ せきがはら史跡ガイド事務局 ☎0584-43-2665

関ヶ原観光Navi

Sekigahara Sightseeing Navigation

スマートフォンで
関ヶ原探索!!



・文化遺産や観光スポットなどの情報を知ることができます。
・目的地までの経路を案内します。
スマートフォン (iPhone・android) で、アプリケーション「layar」をインストールし、「関ヶ原観光navi」を検索してください。

詳細は、関ヶ原観光navi紹介チラシをご覧ください。

一歩足を踏み入れたら、
足を止めて、目を閉じて、まずは深呼吸。
思わずそうしたくなる、そんなまちです。

TOTAL INFORMATION

関ヶ原観光協会

〒503-1592 岐阜県不破郡関ヶ原町大字関ヶ原1167-1
TEL:0584-43-1600 FAX:0584-43-0915

<http://www.kanko-sekigahara.jp/>

ツイッターやっています。



関ヶ原観光情報
@1600_sekigahara

関ヶ原合戦を学ぶ

日本の歴史を変えた、
天下分け目の日

慶長五年(1600年)九月十五日。

天下の覇権を狙う徳川家康率いる東軍と、阻止するために挙兵した石田三成率いる西軍が、関ヶ原を舞台に、天下分け目の決戦を繰り広げた。

両軍布陣後も前夜からの深い霧で見通しがきかない。薄暗い霧が、これからここで起こる激戦を予知するかのような空気さえ醸し出していた。緊張感の漂う中、無言の睨み合いは続く。霧が少し晴れた午前八時頃、東軍・井伊直政により、決戦の火蓋は切って落とされた。

総勢八万四千の西軍が、必勝の陣形で東軍を迎え撃つ。一方、東軍は七万四千人。

大将・家康は、桃配山に本陣を置き、戦況が不利になると、本隊を激戦地・陣場野まで前進させ、東軍の士気を高める。

正午ごろ、家康からの圧力もあり、小早川隊は反旗をひるがえし、同調した他軍とともに、大谷隊を衝く。

その後、小西・宇喜多隊は敗走。さらには石田隊も勇猛果敢に応戦するが挽回の余地なく敗走。

天下分け目の決戦は、開始よりわずか六時間あまりでその勝敗が決まる。

現在の関ヶ原町には、合戦ゆかりの史跡が多く残っています。

ここでは、それらの名所・史跡とともに、関ヶ原合戦時に死闘を繰り広げた武将たちについて、合戦当日の流れに沿って紹介します。

西軍
布陣



東軍
布陣



対峙



開



戦いの様子を一望できる笹尾山に陣を置いたのは、西軍・石田三成

決戦前夜に大垣城を離れた石田三成は、関ヶ原を一望できる笹尾山に本陣を置きます。現在、竹矢来・馬防柵が復元された山麓には、島左近の陣跡があり、徒歩5分程で登れる展望台からは三成が見た景色を望むことができます。



自ら率いる3万もの大軍を桃配山に置き、ここで指揮をとっていた徳川家康。しかし一進一退の戦況に苛立ち、午前11時頃には西軍本陣からわずか数百メートルの場所へ陣を動かしました。合戦時に

家康が使用したとされる腰掛石と机石が今も残っています。

02 桃配山・徳川家康 最初陣跡

関ヶ原町大字野上1424-1

B-7

01 笹尾山・石田三成 陣跡

関ヶ原町大字関ヶ原4008

A-4

04 松平忠吉・井伊直政 陣跡

関ヶ原町大字関ヶ原908-3

B-5



南宮山の敵に備える山内一豊

一里塚から桃配山あたりに陣を置いた山内一豊。南宮山の敵に動きがないため、有馬・蜂須賀の隊と共に前進します。大きな武功はありませんでしたが、掛川城を率先して空け渡して家康の信頼を得たため、土佐の国主となりました。

03 山内一豊 陣跡

関ヶ原町大字野上1391-2

B-8



天下分け目の決戦、開戦の地

合戦当日の朝、霧が薄くなったのを合図に動いたのは、松平・井伊隊。先峰の福島隊の脇を通り抜け、宇喜多隊の前へ進出して発砲します。この抜けがけに怒った福島正則が、宇喜多隊に対して一斉射撃をしつけたのがこの場所だといわれています。

05 開戦地

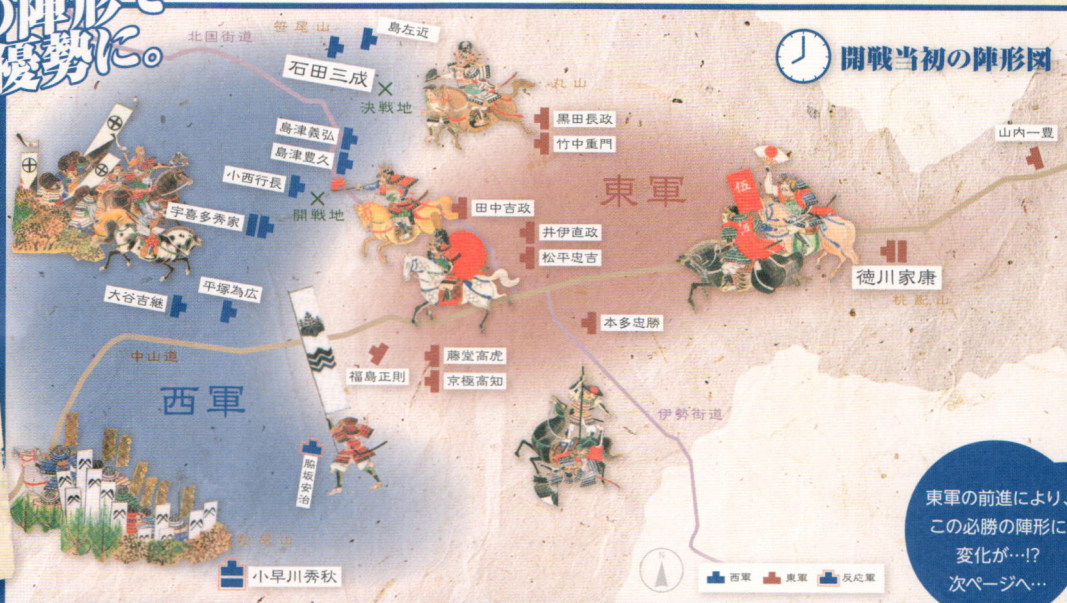
関ヶ原町大字関ヶ原2368-1

B-4

開戦当初、必勝の陣形で西軍が圧倒的に優勢に。

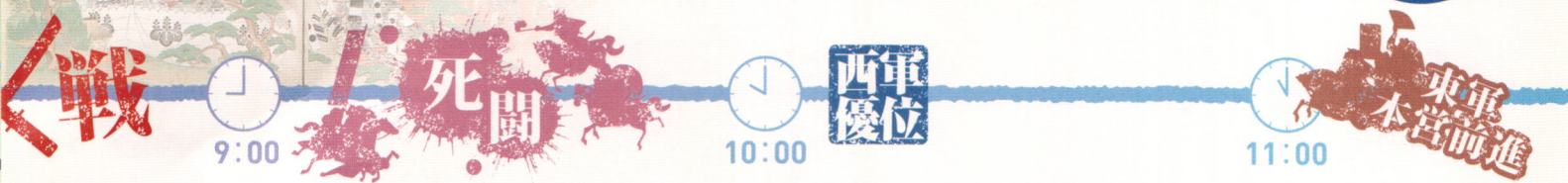
西軍・東軍ともに布陣を終えた開戦当初の段階では、西軍が圧倒的に優位でした。山や丘を見事に押さえ、まるで鶴が翼を広げて敵を包囲しているかのような形。「鶴翼の陣」と呼ばれる、この必勝の陣形をかまえていたのです。

のちに語り継がれた話では、明治政府の軍事顧問だったドイツのフレンス・メッケル少佐が、この布陣図を見た瞬間に西軍の勝利を即答したといいます。山や丘を押さえた見事な陣形は、それほどまでに完璧なものだったのです。



開戦当初の陣形図

東軍の前進により、この必勝の陣形に変化が…!? 次ページへ…



06 南天満山・宇喜多秀家 陣跡
 約1万7千という西軍の主力部隊を布陣し、副総帥として参戦した宇喜多秀家。開戦直後に攻め込まれた史実からも、激しい戦いが繰り広げられた場所だと考えられます。現在は杉の木が茂る南天満山の麓、天満神社の境内に陣跡が残っています。

関ヶ原町大字関ヶ原4146-1 B-4



桃配山から陣を動かした家康は、ここから松尾山の小早川秀秋に向けて発砲を命じます。小早川隊は見事に西軍を裏切り、東軍を勝利へと導きます。合戦後、この床几場で引見が行われ、武将たちが討ち取ってきた敵の首級が実検されました。

08 床几場・徳川家康 最後陣跡
 関ヶ原町大字関ヶ原959-2 B-5



07 福島正則 陣跡
 福島正則は、三成に対立して東軍へ加担。開戦後、宇喜多隊に襲いかかり、死闘を繰り広げました。現在、陣跡が残る春日神社境内には、関ヶ原合戦図屏風にも描かれた樹齢800年の「月見の宮大杉」がどっしりとそびえ立っています。

関ヶ原町大字松尾11 B-5



09 岡山(丸山)烽火場／黒田長政・竹中重門 陣跡
 竹中重門は、黒田長政とともに岡山に陣取り、戦機を見て烽火を上げました。ここは戦況が把握しやすく、開戦の烽火を上げるには好適地。現在も山頂からは関ヶ原のまちや辺り一帯を一望することができます。

関ヶ原町大字関ヶ原732-27 A-6



10 北天満山・小西行長 陣跡
 小西隊は北天満山から烽火をあげて味方に開戦の合図をした小西隊。織田有楽斎や古田重勝らに攻められながらも決死の戦いを挑みました。午後になり、大谷吉継隊が敗れたとの報せを受け、揖斐方面へと逃亡することになります。

関ヶ原町大字関ヶ原2368-1 B-4



11 田中吉政 陣跡
 徳川家康最後陣跡のすぐ隣に、吉政の隊が布陣したと伝えられる場所があります。田中吉政はここから石田隊に向かって兵を進め、笹尾山麓から討って出る先手の兵と激突。また、東軍勝利後には、伊吹山中で逃亡中の石田三成を捕縛する大功を挙げた。

関ヶ原町大字関ヶ原959-2 B-5

小早川の裏切りで、戦況は一変。東軍が攻める!

家康が本営を桃配山から前進させて士気があがる東軍に対し、西軍は必勝の陣形「鶴翼の陣」で戦いに挑みます。しかし、小早川隊の裏切りにより、戦況は一変。翼はまるで片羽をもがれてしまったかのように、西軍は追い込まれていきます。



コラム 戦場のレフリー!?

「関ヶ原合戦図屏風」に「伍」の軍旗を差した武士がいます。徳川幕府及び諸藩の徳川家の「使番」(つかいばん)という役職者で、彼らは、戦場における審判員。つまり、合戦中の貢献度を記録する係です。家康は、その記録をもとに各武将へ付与する石高を決めました。なお、「使番は組わない」という暗黙のルールもあつたようです。

小早川裏切り



大谷自害



決



決断を迫られた若き武将、小早川 ついに西軍を裏切り、大谷隊を衝く



三成への友情を貫いた吉継、あえなく自害

三成の盟友だった大谷吉継は、病身を押し参戦し、三成への「義」を貫きます。当初から疑っていた小早川隊の裏切りにも動じず応戦しますが、配下の脇坂隊ら4隊までが攻撃をしかけると軍は混乱。吉継は自刃してしまいました。

1万5千もの大軍を松尾山に待機させていた小早川秀秋は、当時弱冠19歳。家康から催促の鉄砲を撃ち込まれ、ついに西軍を裏切り、大谷隊を撃破。寝返りにより、東軍を勝利に導きました。現在も山頂からは古戦場を眼下に眺めることができます。

12 松尾山・小早川秀秋 陣跡
関ヶ原町大字山中731-1 C-4

13 大谷吉継 陣跡／墓
関ヶ原町大字山中30-1/大字藤下678-2 B-3



脇坂隊、小早川隊に反応して寝返る
脇坂安治は、朽木元綱・小川祐忠・赤座直保とともに、西軍として松尾山の麓に陣を取りました。脇坂隊の横に陣取ったのは、大谷吉継隊。しかし、松尾山の小早川秀秋が寝返ると、4隊ともそれに反応し、大谷隊へ攻撃。東軍の勝利に貢献しました。



平塚隊と交戦、藤堂・京極隊
藤堂・京極の両隊は、福島正則隊に続いて東軍左翼縦隊の第2陣として進軍します。開戦後は、不破関跡付近まで進撃し、大谷吉継の隊に属していた平塚為広と交戦。小早川隊の裏切りを受けて、共に大谷隊を破りました。



吉継に代わって活躍した、平塚為広
関ヶ原の隣、美濃垂井(1万2千石)を治めていた平塚為広は、合戦時、いち早くこの地へ入り、西軍として参戦します。病身を押し参戦となった大谷吉継と盟友関係だったこともあり、吉継に代わって両軍を指揮していたとも伝えられています。



小早川裏切りの監視役、奥平貞治
家康の意を受けて西軍の裏切りを約束していた小早川隊の監視をしていた奥平貞治。小早川裏切りの後、軍の先頭に立ち松尾山を攻め降りました。大谷勢との激戦に身を挺した結果、討死します。奥平の様に、東軍で命を落とした武将は数少ないといわれています。

14 脇坂安治 陣跡
関ヶ原町大字藤下476-1 C-4

15 藤堂高虎・京極高知 陣跡
関ヶ原町大字関ヶ原2491-101 B-5

16 平塚為広 碑
関ヶ原町大字藤下445-4 B-4

17 奥平貞治 墓
関ヶ原町大字玉573-2 A-3

コラム
Column
女の仕事

合戦の裏方を務めた女性の仕事に、「首化粧」がありました。これは、男達が討ち取った敵方武将の首を、家康が検分する「首実検」のため、顔を洗い、化粧を施すというものです。身分が高いと見られる者の首には、高評価が与えられることから、彼らに良い評価を得させようとした女性達は、少しでも首の者の身分を高く見せようと尽力したのです。

コラム
Column
男の美学

大谷吉継は、盟友の三成に家康との戦いを打ち明けられた時、無謀であると説き続けました。しかし、病身を押し立てて死装束で合戦に参加します。当初から予想していた小早川の裏切りに備え、松尾山正面に布陣。多くの武将が私益のために戦う中で、“義”を貫くために死地へ赴く吉継の生き様は、まさに男の美学といえるでしょう。

旅の出発点
歴史民俗資料館



「関ヶ原合戦図屏風」や関ヶ原合戦に関わる武具などを展示している資料館。合戦時の東西両軍の陣形や合戦の流れを、臨場感あふれる解説付きで見ることのできる大型ジオラマは必見。ぜひ古戦場めぐりの前に立ち寄りみてください。また、隣接するミュージアムショップでは、合戦にゆかりのある武将グッズがそろっています。レンタサイクルや、観光ボランティアによる史跡案内も受付中（詳細は裏表紙）。

24 関ヶ原町歴史民俗資料館

関ヶ原町大字関ヶ原894-28 B-5
☎0584-43-2665 9:00~16:30(11~3月は~16:00)
月曜休(祝の場合は翌日休)・祝翌日休・12/29~1/3
共同☎100台
料金:大人350円・小人200円(団体割引あり)



レンタサイクルハウス



敗走・追撃

その後



東軍優勢となった関ヶ原合戦、最後は三成の首を狙うもので激戦に

小早川の寝返りにより東軍優勢となり、西軍の敗北が見えた関ヶ原合戦。この決戦地は、東軍諸隊が我こそはと三成の首を狙い、激戦を繰り広げたといわれる地です。現在は大きな石碑がそびえ立ち、家康・三成の陣旗が風になびいています。

18 決戦地

関ヶ原町大字関ヶ原1202 A-5



19 島津豊久 碑

島津豊久は、当主であり叔父にあたる義弘を救うため、身代わりとなって討ち死にしました。現在は、新しい顕彰碑と、島津塚と呼ばれる墓が建立されています。宝暦治水木曾三川工事で訪れた薩摩の藩士たちも、この塚に立ち寄ったといえます。

大垣市上石津町牧田741 C-6



20 島津義弘 陣跡

西軍布陣地のほぼ中央部に位置する、島津義弘陣跡。島津隊といえば、鉄砲を巧妙に使って戦ったことで有名です。陣中では壕も掘らず、柵も作らず、鉄砲隊は交互に入れ替わり狙撃し、騎馬隊を打ち落としていたといわれています。

関ヶ原町大字関ヶ原1869-3 B-4



21 本多忠勝 陣跡

本多忠勝は、三方ヶ原・長篠の合戦等で数々の功を上げた猛将です。勇猛だけではなく知略も備えた名将で、関ヶ原合戦では軍監として参戦し、松平・井伊隊が対戦していた島津隊に向かって進撃し、共に戦った。

関ヶ原町大字関ヶ原3441-1 B-6



合戦後、この地で命を落とした武将達を2カ所に埋葬したといわれる

当時この地の領主であった竹中重門が、家康の命により、合戦で戦死した武将たちを東西2カ所に埋葬した首塚。朱色の門をくぐり、スダジイの大木をぬける「東首塚」と、塚の正面には千手観音と馬頭観音が安置されている「西首塚」があります。

22 東首塚

関ヶ原町大字関ヶ原908-3 B-5

23 西首塚

関ヶ原町大字関ヶ原2236 B-5

中山道を歩く

古来より主要道路として、多くの人々が利用した中山道。今もなお、かつての名残が残っています。ここでは、北国街道・伊勢街道の分岐として賑わった関ヶ原宿・今須宿の面影と、その史跡を紹介します。



今須宿

美濃と近江の国境の宿場

今須宿は国境にあたる場所にあったため、美濃国の人と近江国の人が旅籠で寝ながらに話げできたという「寝物語の里」の言い伝えが今も残っています。現在は問屋場の建物のみが残り、当時の今須宿の面影を伝えています。

今須城主の祖先が眠る場所

今須城主の長江重景の祖先、鎌倉権五郎景政を祀った神社。拝殿の横には、関ヶ原合戦を終えた徳川家康が腰を下ろしたといわれる「東照宮天下御踏台」があります。

30 青坂神社

関ヶ原町大字今須3574-1 C-2



語り継がれてきた寝物語

この地に伝わる寝物語の由来は、美濃と近江の国境を挟んで建つ旅籠屋があり、壁越しに「寝ながら他国の人と話し合えた」ので寝物語の名が生まれたといわれています。また、源義経を追って静御前が義経の家来と巡り会った所など諸説あります。



25 寝物語の里

関ヶ原町大字今須3246-1 C-1

200年前の街路灯

今須中町の西端にある石灯籠。文化5年(1808年)に荷物を無くした京都の問屋が金毘羅さんに願を掛け、荷物が見つかったお礼として建てたとされており、以来大切に保存されています。



27 常夜灯

関ヶ原町大字今須3432 C-1



31

32

古代三大関所のひとつ「不破関」の史跡が点在しています。

今須峠の急な峠道は、昔の旅人にとって難所でした。

常盤御前の眠る場所

小さな公園の中に、宝篋印塔と五輪塔が並び建っています。写真左が常盤御前の墓で、牛若丸を追う常盤御前は、この地で山賊に捕らえられ、殺されたといわれています。

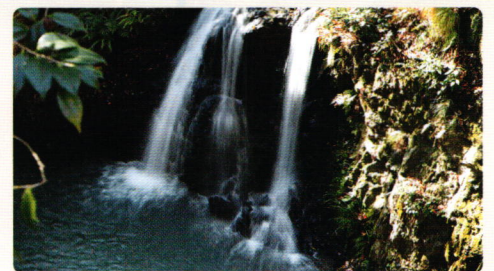


31 常盤御前の墓

関ヶ原町大字山中532 B-3

今須峠に行く旅人のオアシス

黒血川の源流が、ここで数メートルの落差をつけて流れ落ちています。かつて今須峠を歩く旅人の心を癒す場所でした。年中ウグイスが鳴くことから、「鶯の滝」と呼ばれるようになりました。



32 鶯の滝

関ヶ原町大字山中967 B-3



至柏原宿 至米原

25

29

28

27

26

美濃16宿で唯一、現存する問屋場

江戸時代、宿駅で人馬の継ぎ立てなど様々な事務を行った「問屋場」。美濃16宿の中で、当時のまま現存しているのはここだけという、とても貴重な場所です。



28 今須宿 問屋場

関ヶ原町大字今須3447 C-2

県下最古の曹洞宗寺院

正平15年(1360年)に今須領主・長江重景が、亡き母・妙応のために創建した、県下で最も古い曹洞宗寺院。近辺には「地獄谷」、「伝説の巨人・ダダ法師の足跡」などのスポットもあります。



29 妙応寺

関ヶ原町大字今須2591-1 C-2

近辺では見られない精巧な社殿

歴仁元年(1238年)創建の由緒ある神社。本殿は、一間社流造り・檜皮葺きで、その彫物は、江戸期に流行した主題を取り入れた秀逸なものです。町の重要文化財に指定されています。



26 門間の八幡神社

関ヶ原町大字今須152 D-1



関ヶ原宿

美濃16宿で最も栄えた宿場

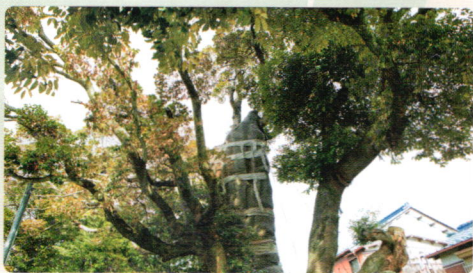
北国脇往還と伊勢街道の分岐点にあたり、旅籠屋が33軒もあった関ヶ原宿は、美濃16宿で最も栄えたといわれています。本陣の庭にあったスタジイの大木、脇本陣の門のほか、野上地区内には中山道唯一の松並木が残っています。

「しゃもじ塚」は、平安時代の武士、平忠常のお墓。



宿場を代表する、高級旅館跡

参勤交代の際に大名が宿泊する施設を本陣といいます。かつて、関ヶ原宿にも「本陣」がありました。その当時から残っている、古木「スタジイ」が、往時を偲ばせてくれます。



33 関ヶ原宿 本陣跡 関ヶ原町大字関ヶ原907-1 B-5

要人御用達、格式の高き宿

ここには当時の面影を残す、古式ゆかしい門が建っています。かつて大名や役人が利用した本陣の予備施設で、本陣に差し支えがあった時に利用されていました。



34 関ヶ原宿 脇本陣跡 関ヶ原町大字関ヶ原902 B-5

絶滅危惧種のスイレンの自生地

900メートル程のウォーキングコースになっている十九女池周辺には、絶滅危惧種のスイレンの一種「ヒメコウホネ」が自生しており、町の人々の憩いの場として利用されています。



35 十九女池 関ヶ原町大字関ヶ原3527-1 B-6

大名行列も通った中山道の名所

樹齢300余年の松の老木が、街道の両脇に並んでいます。中山道に松並木が残っている場所は珍しく、かつて大名行列も、この松並木に沿って進んだといわれています。



36 中山道松並木 関ヶ原町大字野上地区 B-7

人々を見守る、別名「歯痛地藏尊」

この地藏は、「歯痛地藏尊」とも呼ばれており、「六部地藏 歯痛なおてり 礼参り」と詠まれているように、歯痛を治すことでも知られています。



37 六部地藏 関ヶ原町大字野上1400-4 B-7

つるべ式の井戸を再現した休憩スポット

垂井宿と関ヶ原宿の間の宿だった野上地区。街道筋に掘られた井戸は「野上の七つ井戸」と呼ばれ、人々に親しまれました。修復・再現された現在の井戸から、つるべ式で実際に水を汲むことができます。



38 野上の七つ井戸 関ヶ原町大字野上440 B-8

壬申の乱を巡る

672年、関ヶ原を舞台に起きたもう一つの“天下分け目の戦い”が壬申の乱です。天智天皇の後継者として近江朝廷の政権を握ったのは、息子にあたる大友皇子。これに対して天智天皇の実の弟・大海人皇子が反乱を起こし、関の藤川（現在の藤古川）を挟んで激戦を繰り広げました。戦いに勝利した大海人皇子は天武天皇となり、この地に「不破関」を置きました。この不破関を境に、現在の「関東」「関西」の呼称が使われるようになったともいわれています。



悲劇の皇子、ここに眠る

大海人皇子に追い詰められた大友皇子は、大津で自害しました。大友皇子の御首は、首実検の後に地元の人々が貰い受け、この丘に葬られたそうです。そのしるしとしてこの地に三本杉を植え、「自害峯」と称しました。息を潜めるような荘厳な雰囲気の中に、杉の大きさがそびえ立っています。

39 弘文天皇御陵候補地・自害峯の三本杉

関ヶ原町大字藤下284-1

B-4

古代の関所と壬申の乱を学ぶ

館内には関所跡から出土した貴重な土器類のほか、不破関を復元したジオラマや当時の兵士像などを展示。壬申の乱について解説したビデオも視聴できます。



40 不破関資料館

関ヶ原町大字松尾21-1 B-4

☎0584-43-2611 9:00~16:30(11~3月は~16:00)
月曜休(祝の場合は翌日休)・祝翌日休・12/29~1/3 ㊄20台
料金:大人100円・小中学生50円(団体割引あり)



古代の戦いの名残をとどめる川

この川は、もとは山中川と呼ばれていましたが、壬申の乱で両軍の兵士の流血が川底を黒く染めたといういわれから、「黒血川」の名がついたそうです。



41 黒血川

関ヶ原町地内

この川をはさんで、両軍が激突

川の東側に大海人軍、西側に大友軍が陣取り、激戦を繰り広げました。現在は、春は桜、夏は川辺を飛び交うホタルの名所として知られています。



42 関の藤川(藤古川)

関ヶ原町地内

壬申の乱の雄、天武天皇を祀った神社

壬申の乱の直後、大海人皇子(のちの天武天皇)と共に戦った村人たちが、天武天皇を祀る神社を創建。苔に覆われた大きな門や立派な本殿は見ものです。



43 井上神社

関ヶ原町大字松尾389

C-5

心優しき村人が作った神社

この神社のある藤下地区の住民らは、大友皇子と共に戦いました。その住民がのちに大友皇子を祀って建立した神社です。本殿は、町指定の重要文化財。

44 藤下の若宮八幡神社

関ヶ原町大字藤下47-1

C-4

大海人皇子が使ったとされる石

大海人皇子が兜を脱いで掛けたといわれる「兜掛石」と、沓を脱いだ時に足を掛けたと伝えられる「沓脱石」が、今も言い伝えとともに残っています。



45 兜掛石・沓脱石

関ヶ原町大字松尾39-1

B-4

古の関所跡地に佇む神社

不破関が置かれた当初は、関を守る神として天武天皇を祀っていましたが、その後、井上神社と合祀。現在の戸佐々神社には、天照大神が祀られています。

46 不破関西城門跡(戸佐々神社)

関ヶ原町大字松尾156

B-4

古代兵士の喉を潤した場所

壬申の乱の時、飲料水を求めた兵士が矢尻で掘り当てたと伝えられる「矢尻の池」。その隣に、この地で出土した地蔵と自害峯の地蔵を合祀した地蔵堂があります。

47 箭先地蔵堂・矢尻の池(井)

関ヶ原町大字藤下275-2

B-4

古代の日本三関のひとつ

天下の変乱に備え、天武天皇はこの地に関所を置き、通行人を取り締まりました。不破関は、愛発関・鈴鹿関と並んで、古代三関のひとつと呼ばれています。



48 不破関跡

関ヶ原町大字松尾149-1

B-4

古代の皇子が過ごした場所

大海人皇子が壬申の乱の時に過ごしたといわれる場所として残っています。また、この地で大友皇子の首実検を行い、皇位も受け継いだといわれています。

49 野上行宮跡

関ヶ原町大字野上1231-2

B-8

遊

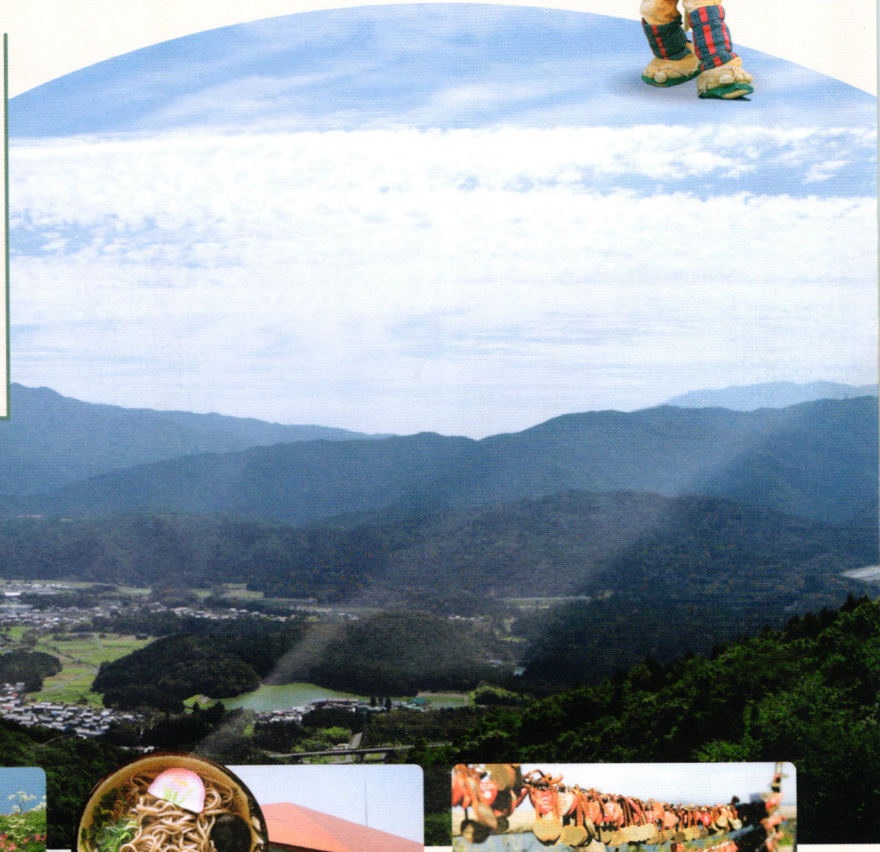
関ヶ原で遊ぶ



自然がいっぱいの関ヶ原町には、それらを活かした素敵な施設がたくさんあります。ここでは、史跡観光以外のレジャースポットを紹介します！

雄大な濃尾平野を一望できる観光名所

滋賀県と岐阜県の県境にまたがっている、伊吹山。標高は1,377mあり、日本百名山のひとつに選ばれています。全長17kmの伊吹山ドライブウェイは、大自然の美しい景色を堪能しながら、山頂付近まで登ることができます。終点の駐車場から山頂までは3本の登山道で繋がっており、ハイキングも楽しめます。



天空のお花畑

高山植物や花々が咲き乱れる、百花繚乱のお花畑。夏場にピークを迎える美しい花々を眺めながら気持ちよく登頂できるのも、伊吹山ならではの魅力です。



おいしいお食事

駐車場にある「スカイテラス伊吹山」では、名物料理「伊吹そば」がいただけるほか、お土産などが販売されており、利用客で賑わっています。



恋人の聖地に認定！

西登山道入口付近には、恋人の聖地に認定されている「恋慕観音像」があり、人気スポットのひとつに。

01 伊吹山ドライブウェイ

関ヶ原町大字関ヶ原1586

A-4

☎0584-43-1155

8:00~18:00 (季節により変動あり)(入場は18:00迄)
※営業予定期間は、4月第3土曜日~11月最終日曜日
無休(悪天候による通行止めの場合あり)

①50台(12km地点) / 600台(山頂)

料金:普通自動車(軽自動車、小型自動車含む)3,090円

※その他の車種は要問い合わせ

<http://www.ibukiyama-driveway.jp>

関ヶ原町内遊歩道全景図！



城山遊歩道

全長 600m
所要時間 約20分

東海自然遊歩道

全長 11.3km
所要時間 約5時間

史跡遊歩道

全長 3.6km
所要時間 約1時間40分

町内に通っている、東海自然歩道・城山遊歩道・史跡遊歩道を巡れば、自然いっぱいの関ヶ原を満喫できちゃう！



珍スポットを超えた、合戦テーマパーク!?

関ヶ原合戦当時の戦場を再現したというテーマパーク。当時の戦況が伝わってくるような迫力満点の石像たちは今にも動き出しそうなリアリティを持っていて、戦国マニアはもちろん、歴史ビギナーにも楽しめるはず。かつての戦場に立ったような雰囲気を味わいながら、歴史を学び、武将たちを思い偲んでみてはいかがでしょうか。



関ヶ原合戦祭り

毎年10月中旬の土日に開催される関ヶ原町最大の戦国イベントであり、毎年全国の戦国ファン、関ヶ原ファンが一堂に会する交流の場。



なんとその数、248体!!

カラフルな等身大コンクリート製の武者像248体が、合戦時の陣形図のまま配置されています。ちなみにこの像を造ったのは、岐阜出身の作家、故・浅野翔雲。

ちょっと真面目にお勉強も!

合戦当時の武具や甲冑などが展示されている「合戦資料館」では、関ヶ原合戦について学ぶことができます。ウォーランドを楽しむ前に、ぜひ行って見て。

02 関ヶ原ウォーランド

関ヶ原町大字関ヶ原1701-6

A-4

☎0584-43-1177(麗守都関ヶ原) 10:00~16:00(12~3月の平日は~15:00)
12/31休(臨時休業あり) 150台 料金:一般500円・小人350円・幼児無料(団体割引あり)

歴史と自然の町、関ヶ原を歩こう



大自然の中にたくさんの史跡が点在する、関ヶ原町。歴史の香りと自然の風を肌で感じながら、ゆっくりと歩いてみませんか?



多くの参加者で賑わう、関ヶ原陣跡制覇ウォーキング

ウォーキングビギナーも気軽に歩ける 90分!

決戦コース

(全長約2.5km/所要時間:1時間半)



関ヶ原町歴史民俗資料館

30分



決戦地

20分



笹尾山・石田三成陣跡

30分



床几場・徳川家康 最後陣跡

10分



田中吉政 陣跡

*所要時間はおよその時間です。なお、散策時間は含んでいません。

体感する大自然!!



気軽に自然散策が楽しめる!

3つの大きな池を取り囲む遊歩道や、バードウォッチングに最適な2つの大きな観察小屋がある、巨大な自然散策スポットです。春には桜、秋には紅葉が楽しめる名所でもあります。森林浴をしながら、散策をお楽しみください。



自然を楽しく学ぼう!

自然の楽しさや大切さを紹介する施設です。1Fには関ヶ原周辺の自然情報を紹介する「情報サービスルーム」や、楽しみながら自然を体感できる「自然観察の森」が、2Fには「ハイビジョンシアター」や「ギャラリー」があります。



昼も夜も絶景を堪能

伊吹山に隣接する明神の森。四季折々の花々と、すばらしい眺望が魅力です。合川山の山頂一帯の森には、至るところにビューポイントがあります。中でも、「展望台」「眺望の丘」からは夜景も絶景なので、ぜひ一度足を運んでみて。



通年楽しめる、オートキャンプ場

キャンプサイトをはじめ、バンガローやコテージ、共同施設、バーベキューサイトなどがあるオートキャンプ場。敷地内には、グラウンド・ゴルフが気軽に楽しめるゴルフ場やヤギ小屋、喫茶店なども併設しています。

04 エコフィールド関ヶ原

関ヶ原町大字関ヶ原地内 A-5

6台 入場無料

05 エコミュージアム関ヶ原

関ヶ原町大字玉1565-3 A-2

☎0584-43-5724 9:00~17:00
月曜(祝の場合は翌日休) 40台 入場無料

06 関ヶ原明神の森

関ヶ原町大字関ヶ原(合川) A-6

☎0584-43-3054
(関ヶ原町役場産業建設課/8:30~17:15)
回数あり
※悪天候等による通行止めの場合あり

07 グリーン・ウッド関ヶ原

関ヶ原町大字今須2048 D-3

☎0584-41-0033 9:00~17:00(予約・受付)
通年営業 基本料金:大人500円・小人300円
フリーサイト1,500円~バンガロー1棟7,000円~ほか
回数あり <http://www.ip.mirai.ne.jp/~gws/>

製造直売スポットもあります!



ゴマの全てが分かる、健康テーマ館

ゴマをテーマにしたミュージアムやショッピングコーナーがあり、観光の人気スポットのひとつとなっています。「開けゴマ!」と言う合言葉で入館できるミュージアムには、様々な角度からゴマを紹介している資料を展示。ゴマ製品のお土産コーナーも充実。

08 胡麻の郷

関ヶ原町大字玉1565-10 A-2

☎0584-43-0073 10:00~17:00 12/25~2月末休
100台(大型バス30台) 入場無料
<http://www.shinsei-ip.ne.jp/goma/>



美しい石の彫刻がいっぱい!

様々な大理石美術工芸作品を展示・販売。完成に何年もの月日を要する「本彫刻」はもちろん、工芸品や水晶などの作品や普段の生活に使えるものもあります。お手ごろ価格のアクセサリ・小物などの土産販売コーナーも!喫茶店も併設(詳細はP12)。

09 関ヶ原マーブルクラフト

関ヶ原町大字関ヶ原2700 C-5

☎0584-43-2000 9:00~17:00 無休
共同12台 入場無料
<http://www.marblecraft.co.jp/>



長い年月がはぐくんだ、自然の造形美

年間を通じて洞内温度が約15℃と、夏は涼しく、冬は暖かい鍾乳洞。全長518mの洞内を、約20分で探索できます。鍾乳石が2m以上になった「玉華殿」、鍾乳石と石筍が何万年もの月日をかけてつながった「巨人の足」、そして竜が天に昇るように天井に向かって伸びる「昇竜の間」など、みどころが満載です。

03 関ヶ原鍾乳洞

関ヶ原町大字玉1328-3 A-1

☎0584-43-0092 9:00~17:00(7・8月は~17:30) 無休 300台(大型バス20台)
料金:大人700円・小人300円・幼児200円(団体割引あり) <http://www.t2.plala.or.jp/tamakan/>

そのほかのおすすめウォーキングコース

西軍派のあなたは...

西軍大好きコース

(所要時間:約3時間)

関ヶ原町歴史民俗資料館—⑩→決戦地—⑩→島左近陣跡—⑩→笹尾山・石田三成陣跡—⑩→島津義弘陣跡—⑩→開戦地—②→北天満山・小西行長陣跡—⑧→南天満山・宇喜多秀家陣跡—⑤→藤古川ダム—⑤→平塚為広碑—②→大谷吉継墓・湯浅五助墓—⑩→大谷吉継陣跡—④→西首塚

東軍派のあなたは...

東軍大好きコース

(所要時間:約2時間半)

関ヶ原町歴史民俗資料館—⑭→細川忠興陣跡—⑪→岡山(丸山)烽火場/黒田長政・竹中重門陣跡—⑤→本多忠勝陣跡—④→藤堂高虎・京極高知陣跡—⑤→福島正則陣跡—⑤→松平忠吉・井伊直政陣跡—①→東首塚—⑩→田中吉政陣跡—⑤→床几場・徳川家康最後陣跡

レンタサイクルも
あるよ!
(詳しくは業務課へ)



このほか、「伝説コース」「自然散策コース」「現代アートコース」などもあります。関ヶ原を巡るおすすめコースは、ホームページをチェック!
<http://www.kanko-sekigahara.jp/>

食

関ヶ原で食べる



地元の人に愛される昔ながらの喫茶店から、関ヶ原ならではのメニューが味わえる食事処まで、おすすめの食事スポットを紹介します。



01 焼肉ハウス いぶき

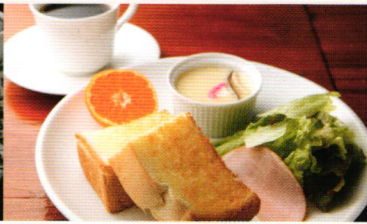
自家製にこだわった素材重視の店

店の隣の畑で栽培する野菜、秘伝のタレ...と、細部まで自家製にこだわる焼肉店。野菜たっぷりの「焼肉セット」がおすすめ。昼はランチ(800円)をどうぞ。

☎0584-43-0673
10:00~21:00
火曜休
☎30台 60席

関ヶ原町大字玉850

A-3



02 喫茶・軽食 今須宿

お得なセットメニューを楽しめる店

こだわりのコーヒーや、手作りの軽食がいただけます。トースト+4品のモーニング、ミニ丼+ミニ種類がセットになった「ちよこっとセット(700円)」が人気。

☎0584-43-0127
9:00~17:00
(12月は~16:00、1~2月は~13:00)
無休
共同☎50台 24席

関ヶ原町大字今須2048

D-3



03 お食事処 魚しげ

創業70年、老舗の絶品ウナギ料理

愛知県三河一色産の上質なウナギに秘伝のタレを絡め、備長炭で香ばしく焼きあげています。おすすめは、3通りの味が楽しめる、名物「ひつまぶし(3,672円)」。価格変動ありうなぎ1,944円〜

☎0584-43-0019
11:00~14:00
17:00~20:00
(OS 19:30)
水曜・第1,3火曜休
☎10台 55席

関ヶ原町大字関ヶ原3206-2

B-5



04 お松寿司

日本海の新鮮な魚に、舌鼓

日本海でとれた新鮮な魚介が味わえる、老舗寿司店。昼は「寿司の盛り合せセット(1,000円)」ほか豊富にそろえるランチを、夜はにぎりや焼き魚などをどうぞ。

☎0584-43-0266
11:30~14:00
16:00~22:00
(土日は~21:00)
木曜休
☎8台 30席

関ヶ原町大字関ヶ原3192-4

B-5



05 君が營

地域住民に愛される、カラオケ&焼肉店

昔からの常連客に愛され続ける店。地域の精肉店と、地元農家から仕入れた新鮮な食材を使用した「合戦焼き(1,500円/1人前)」はボリューム満点です。

☎0584-43-1507
17:00~OS 21:00
(土日祝は、11:30~14:00のランチタイムあり、カラオケは全日14:00~23:00)
月曜休
☎10台 24席(カラオケ喫茶は、20席)

関ヶ原町大字関ヶ原1420-1

A-4



06 そば処 幸山 関ヶ原店

挽きたて・打ちたて・湯がきたて

そば発祥の地、伊吹山産そばを自家製粉にて使用。ふくよかな味と香りと、喉ごしの良さがウリ。おすすめは「天ざる(1,300円)」と「そばパフェ(650円)」。

☎0584-43-1060
11:00~15:00
17:00~20:00
(土日祝11:00~20:00)
月曜休
☎20台 40席

関ヶ原町大字関ヶ原2575

B-5



07 軽食喫茶 こだま

懐かしくて居心地の良い喫茶店

手作り料理がお重にぎっしり詰まった「こだまランチ(850円)」のほか、定食・種類・単品料理など、地元の野菜を使ったメニューがお値打ちに味わえます。

☎0584-43-0458
7:30~19:00
不定休
☎15台 28席

関ヶ原町大字玉1484

A-2



08 THE まんぷく処 Jyajya

昼も夜も大満足な「まんぷく処」

昼はボリューム満点の「日替わりランチ(1,100円/限定10食)」などがおすすめ。夜は、産地直送の新鮮食材を使った料理を肴に一杯楽しめる居酒屋に様変わり。

☎0584-43-5698
11:00~14:00
17:00~23:00
月曜休
☎8台 50席

関ヶ原町大字関ヶ原3441-24

B-6



09 末廣

歴史と伝統が息づく老舗料亭

県外からも常連が足を運ぶ老舗料亭。風格と気品あふれる部屋でいただく日本料理は、店主の思いと季節の香りが感じられます。大広間、個室あり。要予約。

☎0584-43-0011
11:30~15:00
17:00~22:00
不定休
☎20台 120席

関ヶ原町大字関ヶ原603-4

B-5



10 Sekigahara 花伊吹

鉄板ダイニング 天満

シェフが選び抜かれた素材を贅沢に使用し、目の前で味の芸術を披露します。一貫した同シェフのサービスで最後までゆっくりお楽しみください。

☎0584-43-1177
10:00~16:00(売店)
※施設によって営業時間が異なる
無休
☎200台 120席(天満)

関ヶ原町大字関ヶ原1707-2



11 月見荘

よもぎちゃん

観光ドライブイン「Sekigahara 花伊吹」の定番商品。きな粉を練りこんだ珍しいきなこあんが、もちもちのよもぎ餅に包まれています。9個入700円/12個入950円
<http://www.sekigahara-hanaibuki.com>

11 月見荘

老若男女、誰もが楽しめる懐石を

新鮮な食材にこだわった本格懐石が味わえます。和洋折衷のコースもあり、女性にも好評。五感で味わえる懐石料理を、じっくり堪能して。個室完備。

☎0584-43-0144
11:00~14:00
17:00~22:00
月曜休
☎20台 85席

関ヶ原町大字関ヶ原788-5

A-5

買 関ヶ原で買う

関ヶ原のお土産
そろってます!



01 関ヶ原町歴史民俗資料館 ミュージアムショップ

関ヶ原町大字関ヶ原894-28 B-5
※詳細はP04



武将Tシャツ
全12種
各1,500円
(S/M/L)



関ヶ原合戦を見守っていた木
月見の宮大杉 根付
各1,000円



関ヶ原合戦図屏風
大65,000円(縦104cm×横216cm)、
小3,200円(縦20cm×横42cm)



関ヶ原合戦図屏風はがき
7枚入500円



武将三子のぼり旗 全15種
各1,000円(高さ:38cm)



関ヶ原合戦史
510円
関ヶ原名所古跡
600円

泊 関ヶ原で泊まる

関ヶ原町内の宿泊施設・旅館を紹介します。

01 サウンド・ロッジ伊吹

伊吹山ドライブウェイに程近く、伊吹山が迫ってくるような大自然の中に建っています。宿泊棟とは別棟になっている「多目的ホール」は、この施設の特徴のひとつ。
☎0584-43-1515
http://www.est.hi-ho.ne.jp/soundlodgeibuki/

関ヶ原町大字玉1565-6

A-2



02 旅館 神山

伊吹山・養老山脈といった山々、万葉集にも歌われた藤古川に囲まれた場所に位置する老舗旅館。風呂場から見渡す外の景色は、実に趣があり、ゆったりと湯船に浸かりながら大自然を満喫できることでしょ。

☎0584-43-0369

関ヶ原町大字関ヶ原4163

C-6



03 榎屋

永長元年創業の旅館旅館。客室は昭和初期に、玄関は平成元年に改築されています。宮大工が建てたという建物も、風情ある中庭も、いい意味で古さを残しており、宿全体から暖かいものを感じることができます。

☎0584-43-0015

関ヶ原町大字関ヶ原597

B-6

12 喫茶 ふうせん

町の中心にある休憩スポット

「関ヶ原ふれあいセンター」内にある喫茶店。気さくで明るい店主は人気者で、毎朝常連さんで賑わっています。お得なモーニングセットもあります。

☎0584-43-5573
8:00~17:00
月曜休
共同☎100台
25席

関ヶ原町大字関ヶ原894-29

ふれあいセンター内

B-5

13 喫茶 本陣

お値打ち&種類豊富な定食が人気

おすすめの「焼きそば定食(700円)」をはじめ、豊富な定食メニューがそろった喫茶店。自家製のお米、野菜を使った手作り料理は、どれもホッと落ち着く味。

☎0584-43-2212
7:00~20:00
(冬は8:00~18:00)
不定休
☎15台 30席

関ヶ原町大字関ヶ原1994

B-5



14 コーヒー&ステーキ 松

300品目を超える豊富なメニュー

味噌カツに刺身・茶碗蒸しが付いた、ボリューム満点の「ジャンボみそカツ定食(1,580円〜)」が人気。お茶したい時にもお腹いっぱい食べた時にもぴったり。

☎0584-43-1508
7:00~21:00
月曜休
(祝の場合は翌日休)
☎22台 130席

関ヶ原町大字野上1372-2

B-8

15 喫茶 マーブル

優美な空間で味わうこだわり料理

クラシックが流れる店内で手作りの料理が味わえます。昼は「マーブルランチ(700円)」、ティータイムは「自家製ペイストチーズケーキ(300円)」がおすすめです。

☎0584-43-2100
9:00~17:00
無休
共同☎12台
28席

関ヶ原町大字関ヶ原2700

C-5

16 喫茶・御食事処 奴笠

くつろぎの空間でゆっくり食事を

地元産野菜をふんだんに使った、栄養満点「日替ランチ(900円)」など、メニュー豊富な喫茶店。トーストをサラダに変更できるモーニングサービスも人気。

☎0584-43-5656
7:00~20:00
(日祝は~18:00)
木曜休
☎50台 64席

関ヶ原町大字今須3124

C-1

17 やまびこ路

東西のダシを楽しむ「味の決戦地」

薄口昆布ダシの関西風、濃口かつおダシの関東風から選べる「天下分け麺」が特徴の食事処。麺類が選べるランチ(800円〜/月〜土)のほか、定食類も人気。

☎0584-43-2893
10:00~17:00
(土日祝は~21:00)
火曜休
☎40台 74席

関ヶ原町大字野上1380-1

B-8



三大カレー 飛騨牛・和牛・エビ



関ヶ原合戦弁当

関ヶ原合戦ゆかりの武将にちなんだ食材を使った弁当。販売日限定、要予約(詳細は問い合わせ)。

18 レストラン伊吹

おいしさを追求し続けるレストラン

シェフ自信作の3大カレーや遠方からもわざわざ食べに訪れるというハンバーグは絶品。昭和34年創業から変わらない味の中華風あんかけ焼きそばも人気だ。

☎0584-43-1180
11:00~14:00
17:00~20:00
不定休
☎15台 60席

関ヶ原町大字関ヶ原2648-9

B-5

19 レストラン 禁

伊吹山のふもとでおいしい食事を

広々とした座敷席で食事を楽しめるレストラン。こだわりの釜飯は、うなぎ・鶏の定番に加え、山菜などの季節限定メニューも登場します。自家製のうどんもイチ押し。

☎0584-43-0628
11:00~15:00
(土日祝は~20:30)
無休
☎30台 100席

関ヶ原町大字関ヶ原1437

A-4

20 ココカフェ

法螺貝響く歴史カフェ

店内から三成の陣跡・笹尾山を臨めるカフェ。三成コーヒー(390円)や合戦カレーランチ(880円)がオススメ。法螺貝が鳴ったお料理出陣の合図です!

☎0584-51-7665
9:30~18:00
(11:30~14:00はランチタイム)
火曜休
☎7台 21席

関ヶ原町大字関ヶ原811-39

A-5



◆味噌せんべい(写真中央)1枚60円〜
昔ながらの「味噌せんべい」や人気の「ピンスせんべい」など、昔ながらの製法で手焼きするせんべいが約20種類あります。



◆オリジナル和菓子各種 1個110円〜
チーズの香りと食感が新しい「関ヶ原ちーずまんじゅう」をはじめ、銘菓「美濃」、珈琲味の「古戦場」など、趣向を凝らしたオリジナル菓子。



本場韓国の漬物や、味付け味噌を製造・販売しています。配送も受け付けておりますので、気になる方はぜひ一度お問い合わせを。

02 桐山せんべい本舗

関ヶ原町大字関ヶ原2664-1

B-5

☎0584-43-2756
8:00~18:00 月曜・第3日曜休
☎3台

03 松野屋

関ヶ原町大字関ヶ原3319

B-6

☎0584-43-0733
8:30~19:00 火曜休
☎2台

04 森商店

関ヶ原町大字関ヶ原3441-67

B-□

☎0584-43-2179
店舗営業は基本的になし。
注文は、電話・FAX・メールにて24時間受付



「関ヶ原ブランド認定品」とは

町の資源を生かした町産品(商品・サービス・地域資源)をもっと多くの方に知ってもらうとともに、新たな町産品の開拓を推進していくため、関ヶ原町が平成26年に発足させた制度です。「関ヶ原ブランド認定審査委員会」が認定したものを、「関ヶ原ブランド認定品」として公表しています。

関ヶ原町広域MAP





00 関ヶ原合戦P1-4	決戦コース
00 中山道P5-6	車
00 壬申の乱P7	徒歩のみ
00 レジャーP8-10	車両通行不可 (自転車は可)
00 飲食P11-12	P 駐車場
00 お土産P11-12	wc お手洗い
00 宿泊P13	